

団体情報	
団体番号	31
団体名	考古学研究会
所属人数（前年度）	約22名

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。
		所属する学生が考古学を学び、実際に検証（実験考古学）して理解を深めたりその楽しさや意義を知り社会へ広めていくこと。
	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 前年度末に年度を通して何をするかの目標（2025年度は土器の作成）を決めてそれに沿った論文を読んだり学術的な知識を深める。 前年度は上記の通り土器の作成を目標として進め、作成方法に関する論文や関連した展示を行っている博物館に足を運んで作り方を学ぶ等のことを定期活動で行った。ただ実証するだけでなく、製作の過程や技法をあらかじめ知っておき実際に作った時と比較することを念頭に1年生を含むメンバー全員が熱心に学んだ。  ②社会や地域貢献活動 学生が考古学を研究する団体ということもあり、前年度は地域やそこに住む人々との明確な交流はなかった。一方で、土器を製作するにあたり「広島県立みよし風土記の丘」などの博物館の方々と協力して行ったことから、例えば2026年度はこのような実験考古学をこの島根県の博物館と連携して休日に行い、一般の方々も参加して行う、そして学んだ成果発表会を考古学に興味のある地域の方々を集めて行う等のことをしてするのも一案として考えている。 

		③その他アピールできること 考古学の専門的な知識を習得し、その習得した知識を用いて古代の道具や生活を実際に製作したり再現したりできること。例えば土器は目にするなら、博物館や歴史の教科書で出来上がったものが主である。一方で今回は胎土から作り、なめらかになるにはどう土をこねるのか、焼くときの温度、焼きによるむらで色や固さが変わることなどに注意するなど古代の人が考えていたかもしれない視点で過程をみることができた。このように目の前にあるものの背後や過程を考古学的に見ることができるのがこの団体の最大の特徴である。 Ⅱ．活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。） 大会やイベントへの参加は2025年度に関してはなかった。
--	--	--

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥0	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥0	0円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥11,000	
		活動・イベント収入		
		寄付金		
		スポンサー収入		
		その他	¥20,000	自主ゼミ支援金
		収入合計	¥31,000	
	支出	備品等購入費		
		施設等利用料		
		大会等参加費		
		広報活動費		
		交際費		
		交通費		
		その他	¥25,000	土器の粘土購入、交通費などがすべて含まれている
		支出合計	¥25,000	
	差引収支		¥6,000	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。